


少数民族・異文化理解フェア ～『極北を生きる』カナダ・イヌイット展～

 イヌイットとは？

イヌイット (Inuit) は、カナダ北部などの氷雪地帯に住む先住民族のエスキモー系諸民族の1つで、人種的には日本人と同じモンゴロイドです。遺伝子的にも日本人と共通の祖先がいるそうです。人口約3万人。

 昔は「エスキモー」と言っていたけれど？

「エスキモー」はカナダ先住民のクリー族やオジブワ族の言葉で、「生肉を食べる輩」という意味があるとされ、差別的な意味が含まれると言われています。ですから、イヌイット自身の言葉で「人々」を意味する用語である「イヌイット」が政府文章やメディアで使われるようになったのです。

 どうしてこんなにブカブカの服なの？

イヌイットの冬服は、アザラシやカリブー（トナカイ）の毛皮でつくられており、世界でもっとも優れた防寒着です。アノラックとよばれる外とうは、顔を出す部分と袖口以外にはすきまがなく、大きめにつくっているの、服と身体との間に暖かい空気の層ができ、これが保温のはたらきをしています。



 匂いがするけど？

毛皮で作られた衣類は、強烈な異臭を放ちます。これはイヌイットの生活のにおいのひとつと言えます。ちなみに零下30、40度の世界では、無臭に近い状態になります。

 この民族衣装はどこから借りたの？

国立民族学博物館（大阪府）からお借りしました。博物館をもった文化人類学・民族学の研究所です。

図書館だより

球陽高等学校
球陽中学校
図書館発行

今日16日
放課後、
最後の
試着会だ
よ!!

～『アイヌ文化に出会う』～

アイヌ衣装試着会は26・27日放課後に行います!

明日からは、日本の先住民であるアイヌの文化の展示を行います。ちなみに、「アイヌ」も「人間」を意味する言葉です。先住民の名称には「人間」や「人々」を意味する言葉が使われる傾向があります。



 異文化理解、それは自分の足元を見つめ直すこと  そんな本、館内に沢山揃えています

